

専修大学附属高校 新校舎完成

伝統と校風受け継ぎ「実践的な力」育む



▲光あふれるエントランスホールが印象的



▲白を基調とした明るいイメージの新校舎

創立80周年記念事業の一環として計画され、昨年から全面建て替え工事が進んでいた専修大学附属高校（今福義幸理事長・東京都杉並区和泉4—4—1）の新校舎がこのほど完成、11月11日から授業が始まった。

コミュニケーションスペースは広く

光あふれるエントランスを入ると正面1階に図書館とPC室が連携して配置されている。2階職員室前のコミュニティーラウンジは、生徒と先生の交流の場となる。普通教室は2・3・4階に配置されている。



▲天井がユニークな明るいランチルーム



▲採光充分な教室で快適な授業環境



▲ランチルームに続く「ウッドデッキ」
晴れた日はここでランチも...



▲仲川恭司文学部教授揮毫による校名銘板が
校門の両サイドに

マルチメディア対応型

「オープンな学校」「コミュニケーションの場の充実」といった基本方針で設計されたマルチメディア対

応型の次世代新校舎で専大附属高校の新たな歴史が始まる。



▲「CAI・CAL室」の機器でさらに高い学習効果が期待される。



▲道路をはさんで小体育館も。柔道場、卓球場、多目的運動場を備える。

竣工式

竣工式は10月28日に行われた。直会(なおりい)で今福理事長は「校舎建て替えは関係者の長年の夢でありました。近隣の皆さまに深いご理解をいただき、杉並区や新宿区などのご協力もいただきながらようやくこの日を迎えることが出来ました。新施設を有効に活用し、今まで以上に教育内容の充実に努めてまいります」とあいさつ。来賓の出牛正芳専修大学理事長が祝辞を述べ、藤村富士男校長が乾杯の発声を行った。

生徒代表として出席した生徒会会長の石井優香さん(2年)は「とてもきれいでビックリしています。新しい校舎で勉強出来てうれしいです」と話した。



▲体育館の緞帳には円周率が織り込んである。同窓会と平成13・14・15年度卒業生からの寄贈

体育館の床には鮮やかなシンボルマーク



見学会

受験生を対象とした校舎見学会と学校説明会は11月27日(土)・12月4日(土)に行われる。ホームページwww.senshu-u-h-ed.jp

